

うたしない 市議会だより

第56号

歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 令和2年2月1日

行政常任委員会で雄武町を視察（移動販売車「ひので丸」前にて）



令和元年
第4回定例会
12月開催

〔定例会の開催〕
12月17日から19日までの3日間定例会が開催されました。17日は、決算審査特別委員会に付託していた議案の審査結果報告1件、（株）歌志内振興公社に係る報告1件、選挙管理委員及び同補充員選挙、議案12件を審議し、議案12件はいずれも全員一致で原案どおり可決しました。
一般質問は18日4名、19日2名が行い、その後、意見書案3件を審議し、採決の結果、いずれも原案どおり可決し、閉会しました。

議会の動き

もくじ

- 議会の動き …… 1 P
- 一般質問 …… 2～3 P
- 行政常任委員会報告 …… 4 P
- 決算審査特別委員会報告 …… 4 P
- 可決された意見書 …… 4 P



行政常任委員会で歌志内小学校を視察



能登 直樹

一 冬期間の除雪について

質 早朝の道道・市道沿いの民家等の出入口に置いていかれる雪の除雪対策として、市としてどのような考えを持たれているか。

答 道道の出入口の除雪については、地先の皆様のご協力でお対応させていただいている。市道においては、極力住宅側へは重い雪がいかないように運転手に指示を出している。大雪等の時は日中除雪が可能な場合、市で対応している。

また、高齢者・低所得者が対象にした除雪ヘルパー制度があるので、対象者の方は制度を活用していただきたい。

二 市内高齢者の移動手段としての交通機関等について

質 高齢化に伴う免許証の自主返納等が増加傾向の中で、車を運転しない市民の方のために、コミュニティバス、デマンドバス等の導入に向けての考えはあるか。

答 コミュニティバス、デマンドバスとも、既存のバス路線が運行しているため、原則、参入することができないので、

導入は考えていない。

今年度から75歳以上の方を対象に高齢者外出支援タクシー利用券の交付事業を実施。

また、商業施設や病院等が施設に付随するサービスの 일환として、一定の条件のもとで行う無料送迎等は規制の対象外なので、新しい交通サービスの可能性についても、引き続き検討していく。

三 かもい岳温泉とスキー場のその後について

質 9月議会において1事業者から具体的な企画提案書が提出され、譲渡に向けての協議を進めているとありました。それを進めているのか。

それ以降、この事業者と協議の場を持たれているのか。現時点で存続再開に向けて、どこまで進展しているのか。

答 事業者とは、両施設の企画提案書や資金面等の協議を7月以降含め、15回程度行っており、事業計画書の分析の他、事業者からの条件や対応方法等について調整を行い、事業者側の関係者とも面談し、運営体制の確認作業も同時に進めている。

今後、各種条件等の問題を解決しながら、譲渡に向け慎重に進めていく。



本田 加津子

一 学校給食について

質 限られた給食食材費の中で、メニューを作成するにあたり、どのような工夫をされているのか伺います。

答 メニュー作成にあたり、いつも心がけているのは、栄養バランス・季節の食べ物を取り入れる・おいしさ・安全第一です。

質② 令和3年の義務教育学校の開校に合わせて、給食費全額助成についても検討していく時期ではないかと考えますが、これまで、給食費の全額助成について検討・協議・試算などを実施したことがあるのか伺います。

また、給食費全額助成実施に向けての考えを伺います。

答 空知管内の助成状況を把握し、全額助成した場合の試算は行っているが、具体的な検討までは行っておりません。

質③ 近隣のマチで給食調理業務委託の報道がありました。歌志内市としては、今まで通り給食センターで調理業務を継続していくのか伺います。また、将来的に給食調理業務委託について検討していく

考えがあるのか伺います。

答 当面は現在の給食センターで調理業務を行っていく予定ですが、児童生徒数の推移、施設や設備の老朽化等の状況に応じ、業務委託や広域連携といった手段なども、方向性の一つとして検討が必要であると考えています。

二 日本スポーツ振興センター災害共済給付制度について

質① 空知管内では、多くのマチが共済掛金の全額負担・半額負担を実施しています。歌志内市では、一部負担の実施となっていますが、半額負担ではなく、一部負担となつた経緯について伺います。

答 共済掛金については、平成16年度以前は市が全額負担していましたが、平成17年度の行財政改革推進計画の実施に伴い、掛金の10分の6である550円を徴することとし、現在に至っています。

質② 認定こども園に通う子どもたちには、どのような負担になっているか伺います。

答 認定こども園に通園する園児については、掛金を市で全額負担しています。



めぐ さとし

一 歌志内市総合計画について

現在、歌志内市総合計画の後期基本計画が策定されている最中ですが、前期基本計画の内容の具体的状況把握をきちんと分析し、当初の基本構想との乖離やずれをどう軌道修正するのが大きな焦点となり、今後の歌志内市の行財政を大きく左右する大事な計画となると思います。

質 市民アンケートの結果やまちづくり市民会議からの提言など、子育て世代のニーズとして「整備された住宅の確保」について高い関心を示されているようですが、具体的な施策として示す必要があると考えられているか。

答 実施した市民アンケートの「これからの歌志内にあった方がいいもの」の項目で、民間アパートや子育て専用住宅が高く、市民会議でも提言がされている。

このため、引き続き子育て世代向けの住宅について、重要と考え、計画に搭載することを予定しているので、事業

一般質問

を実施する本計画の期間中に実施の可否を含め検討する。

質 市民アンケート結果では

歌志内に住み続けたいと考えている市民が7割いる一方で、他市町村への転出意向をもつ市民も2割となっています。

その転出理由で最も多いのが、「買い物の方が悪い」「道路・交通の便が悪い」です。

このことについて、策定作業が進んでいる総合計画や総合戦略では、どのような施策が検討されているのか伺いたい。

答 市民アンケートの結果では、約7割が歌志内に住み続けたいとの意向を持っており、一方、転出の意向を持っている約2割の方は、「買い物の方が悪い、道路・交通の便が悪い」と回答されました。

転出意向を持っている9割の方は、今すぐではなく、いずれは他市町村へ移りたいとの意向のようです。

このため、単独の施策や事業で特効薬的なものはありませんが、引き続き本市に住んでいただけるよう、商工業者等への支援や新しい交通サービスの可能性について検討することを計画に掲載する予定。



山川 裕正

一 道の駅附帯施設について

質 道の駅附帯施設を拠点に活動する地域おこし協力隊員を8月に採用し、観光情報発信や市民との交流や取材による情報収集などの業務を行うと市広報に掲載されており、地域おこし協力隊員の活動状況を伺います。

答 8月1日より地域おこし協力隊員が着任し、道の駅附帯施設に訪れる観光客への観光案内をはじめ、市フェイスブックを活用した観光情報の発信や各種イベントの紹介などを行ってまいります。また、10月6日には、かもい岳山頂で、雲海を眺めながら、楽しくヨガの体験ができる「雲海カフェ」を主催しております。

今後本市の観光資源を活用したイベントの企画に意欲を見せておりますので、協力隊員の活動をサポートして参ります。

質 歌志内市後期基本計画・第2期総合戦略の策定に向けて実施した市民アンケートで、歌志内市にあったほうが良いと回答された中に市民が立ち

寄れるカフェやフリースペースが44・2%と高い結果を示しました。地域おこし協力隊員が市民との交流を図るためにも道の駅にカフェやフリースペースを設置する考えがな

いか伺います。

答 現在、道の駅附帯施設は館内の大部分がフリースペースとなつている状況であり、ますので、本年度は、そのスペースを利用して各種団体による催事物等が開催されました。

なお、道の駅附帯施設にカフェを設置することは今のところ考えておりません。

質 協力隊員の方は事務室にあり、今の配置体制では市民との交流に欠けると思つたので、上砂川のまちの駅のように、協力隊員の方と気軽に交流できる場、もしくはゆつくりと腰を据えてお茶を飲めるようなスペースにできないか。

答 ご指摘の部分については、いろいろと考え等もあるので、活かせるものがあれば、本人とも話しながら進めて行かなければと考えているが、まだ今年度始まったばかりであり、今後において研究・検討していきたいと考えております。

寄れるカフェやフリースペースが44・2%と高い結果を示しました。地域おこし協力隊員が市民との交流を図るためにも道の駅にカフェやフリースペースを設置する考えがな



下山 則義

一 市民アンケートについて

質 町内会連合会との情報交換会で、当市が行ったアンケートの結果、他の市町村に移りたい理由が公表されました。

① 買い物の方が悪い。
② 道路・交通が不便。
③ 保健・医療環境が不十分。

それぞれの内容の分析と対処法を伺います。

答 ① 買い物は、コンビニが2軒、個人商店が1軒しかなく、生鮮食品に乏しい状況であり、商業業者などの誘致が厳しい状況で、関係所管課とも調整・検討する必要があります。

② 道路は、赤平奈井江線、砂川歌志内線などがあり、道路状況は不便とは思っていません。交通は、中央バス歌志内線が唯一の公共交通機関であり、平日16便、土・日・祝日が13便のため不便に感じている方がいらつしやるのだと思

不十分と回答されたと分析しています。

二 英語及び学習意欲向上について

質 平成31年第1回定例会で、実用英語技能検定受験者の保護者に対し検定料を助成するとの説明がありましたが、① 検定試験の説明・PR等について、② 児童・生徒の受験状況について伺います。

答 ① 小学校では、参観日に助成制度の説明を行い、検定に興味を持つと思われる4年生、5年生、6年生に担任から受験や助成制度の案内のプリントを配布し、PRに努めています。中学校では、学校便りで生徒保護者へ助成制度の説明を行い、教科担任が授業の中で受験や助成制度の説明を行っています。

② 10月に実施された検定に、小学生5名、中学生2名の合計7名が受験しています。

内訳は、3級に中学生が2名、4級に小学6年生が1名、5級に小学6年生が2名、小学5年生が2名受験し、全員が合格しています。

※この他に、教育行政について質問を行いました。

行政常任委員会報告

委員長 谷 秀紀

- ▽10月28日～29日「行政視察」
 - ・買い物利便性向上対策について（紋別郡雄武町）
 - ・義務教育学校の取り組み状況について（紋別郡湧別町）
- ▽10月31日
 - ・職員の研修及び福利厚生状況について
 - ・職員の給与、定員管理状況について
 - ・職員の有給休暇及び無給休暇の取得状況について
 - ・公共施設、公用車に係る燃料の購入状況について

行政常任委員会で湧別町を視察



「決算審査特別委員会報告」

委員長 本田 加津子

- 令和元年第3回定例会で決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査となっていた平成30年度決算に係る議案の審査結果について、12月17日の本会議で委員長より報告があり、いずれも全員一致で認定されました。

●付託議案

- ▽議案第42号 平成30年度歌志内市各会計歳入歳出決算の認定について
- ▽議案第43号 平成30年度歌志内市病院事業会計決算の認定について（令和元年9月25日付託）

●審査日程

- ▽11月12日（1日目）
 - 教育委員会・市民課・総務課・選挙管理委員会・企画財政課・議会事務局
- ▽11月13日（2日目）
 - 会計室・市立病院・産業課・建設課
- ▽11月14日（3日目）
 - 監査委員事務局・消防本部・保健福祉課



行政常任委員会で湧別町立芭露学園を視察

一部事務組合等議会

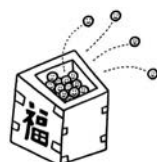
- ▽11月25日
 - ・砂川地区保健衛生組合議会 第2回定例会 下山議員
- ▽12月2日
 - ・中空知広域市町村圏組合議会 第2回定例会 川野議長
 - ・石狩川流域下水道組合議会 第2回定例会 能登議員
 - ・中・北空知廃棄物処理広域連合議会第2回定例会 本田議員
- ▽12月3日
 - ・中空知広域水道企業団議会 第2回定例会 川野議長
 - ・空知教育センター組合議会 第2回定例会 山崎議員

可決された意見書

- 「あおり運転」に対する厳罰化とさらなる対策の強化を求める意見書
- 授業料減免制度の現行水準を維持することを求める意見書
- 災害救助法の見直しを求める意見書

※これら3件の意見書は12月19日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付しました。

編集後記



昨年は市議会に対し、住民皆様の暖かいご支援・ご協力をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。今年も歌志内市総合計画の後期基本計画が策定される重要な年となります。各議員、住民皆さまに寄り添った立場で頑張らせていただきますので、よろしくお願いたします。

編集長 めが



行政常任委員会で歌志内中学校を視察（体育授業の様子）